



秋田県の学力向上に向けた取組について

大館市立城南小学校 教諭 樋渡 正

1 はじめに

秋田県は、全国学力量習状況調査において、連続して良い結果を示している。その背景には、佐賀県と違った学習指導、地域・保護者との連携、児童の生活習慣・学習習慣があるのではないかと考えた。

本年度、佐賀県学力向上推進教員派遣事業として、秋田県と福井県に教員が派遣された。私は、秋田県への派遣教員として、城南小学校に勤務している。この事業の目的は、秋田県内の学校に教員として勤務し、学力向上に向けた取組を実践したり、校外研修等に参観したりすることを通して、秋田県の学力向上に向けた取組について把握することである。

1年間、秋田県に勤務して感じたことは、日々の授業や家庭学習が学力向上につながっているということである。授業や家庭学習について城南小学校での実践を中心にまとめてみた。

2 授業

(1) 授業の進め方

「研修の手引き」には、授業展開例（城南型授業）が示されており、全職員が共通理解し、共通実践を行っている。校外研修で大館市内外の学校を訪問し、授業を参観したが、どの学校でもこのような授業展開が行われていた。秋田県内では、どの学校でも、授業の進め方が統一されていると感じた。

授業の進め方が統一されているので、学級担任が変わっても、児童は学習の見通しをもって、授業に臨むことができる。

【城南型授業（算数）】

- ① 学習問題をつかむ
- ② 本時の課題をつかむ（既習事項との相違）
- ③ 解決の見通しをもつ（既習事項の活用）
- ④ 求め方を考える（自力解決：約7分）
- ⑤ 考えを検討し合う（学び合い：15分～20分）
- ⑥ 学習のまとめをする
- ⑦ 確認問題を解く

(2) 説明する場の設定

算数の授業において、学び合いの時間に説明する場を設定している。児童は、図・表・式・算数用語を使って説明している。説明を聞いている児童は、返事をしたり、うなずいたり、相づちを打ったりして反応している。このことによって、学び合いの時間が活気に満ちている。また、説明が途中までしかできなかった場合は、友達につなぐようにしているので、説明の苦手な児童でも発表することができる。このことが、課題を見いだして考える力・知識や情報を活用して課題を解決する力を身に付けることにつながっている。

3 家庭学習

(1) 家庭学習の内容

復習を中心とした内容になっている。今日の授業の復習、テストの見直し、テストに向けての学習、国語辞典を活用した言葉の学習、社会科・理科の調べ学習などに取り組んでいる。

(2) 習慣化させるための手立て

家庭学習の「手引」や「やり方」を配付したり、上手なノートを紹介したりして、保護者が協力しやすい環境を整えている。また、丸付けや問題を書くことのお願ひ、カードやノートへのサインのお願ひ、見届け・声掛けのお願ひなど、協力してほしいことを具体的に示している。

学級担任は、必ずノートへコメントを書き、児童の意欲を高めている。また、提出状況をチェックしたり、個別指導をしたりして、家庭学習の習慣化を図っている。

(3) 児童の様子

【「家庭学習（一人勉強）」について、児童へのアンケート】

	低学年	中学年	高学年
お家の人と一緒にすることがある。	57%	46%	27%
お家の人に丸付けをしてもらうことがある。	75%	58%	17%
お家の人に問題を書いてもらうことがある。	45%	29%	6%
お家の人に内容を相談することがある。	39%	41%	46%

児童の家庭学習の様子を把握するために、「家庭学習（一人勉強）」についてのアンケートを行ってみた。アンケートの結果より、低・中・高学年を比較してみると低学年の方が保護者との関わりが多い。低学年のうちに保護者と連携して学習習慣の定着を図っていることが分かる。また、内容についての相談を見てみると、低学年から高学年まであまり差がない。家庭学習に対する保護者の関心が高いことが分かる。

(4) 家庭学習ノート展

年に2回保護者参観に合わせて「家庭学習ノート展」を実施している。学級担任が選んだ良いノートが展示してある。選ばれた児童は、家庭学習への意欲がさらに増す取組だといえる。実際にノートを手にとって見るので、他の児童や保護者がそれを見て、今後の家庭学習の参考にすることができる。

4 おわりに

秋田県では授業の進め方や板書の仕方が統一されている。どの先生も、45分の中でねらいを達成できるように授業を組み立て、1時間1時間を大切にしている。

家庭学習においては、家庭と連携して取り組めるような体制づくりがきちんとなされており、児童の学習習慣の定着が図られている。

授業と家庭学習を徹底する。秋田の先生方にとっては、当たり前のことを当たり前にしている。このことが学力向上につながっていると強く感じた。